

増殖礁の効果

2021年3月に調査を実施したところ、礁内部にはオオモンハタ、ハナダイ類などの小型魚類、イシダイ、マダコなどが確認されました。貝殻基質には付着動物も多く付いており、エサ生物も順調に増えているようでした。



▲オオモンハタ

魚礁の効果

魚礁にはマアジなどの小型魚類が群れており、内部ではクエ、オオモンハタなどのハタ類、イシダイなどを確認。周囲ではマダイが広範囲で確認されました。試験釣獲では大型のマダイやマアジ、ハタ類などが釣れ、JF シェルナースで増えたエサ生物を食べていることが分かりました。

調査に協力いただいた船長は春から夏にかけて JF シェルナース漁場を利用されており、2020年はマダイ、ハガツオ、ブリなどが非常に良く釣れたとの情報をいただきました！



▲マアジ



JF 担当者がマダイをゲット！

▲釣獲調査の結果

資源増殖や漁獲の場として効果を発揮！



▲JF シェルナース漁場の2020年8月の漁獲物



▲調査後には報告会を実施（2021年3月）